

委員会 ニュース

計補正予算

今年度中に

ホッケー場が完成



ホッケー場完成間近



問 ホッケー場の公認の過程は。

答 国体開催のためには日本ホッケー協会が指定する機関で検査を受け、公認を取得する必要があります。この期間は10年間であり、その後も必要な場合には、再度、検査を受ける。

問 避難行動要支援者の名簿作成事業の内容は。

答 70歳以上の独り暮らしの方、高齢者だけの世帯、要介護3以上の方などの名簿登録対象者に対し、支援が必要か調査を行う。

来年3月ごろには新たな名簿ができ、更新は1年ごとに行う。

問 JR車両・貨物駅等周辺整備対策事業の内容は。

答 車両基地の整備は県が主体となり、車両基地の周辺の町道、水路などの整備は、国県の補助を受け、町が主体となる。

問 公共下水道事業で工事費の減額が多いが、入札の結果、最低価格を下回り、失格があったのでは。

答 国の補助金の減額に伴い、一部、工事の見送りを行った事業費の減額が含まれている。

問 国民健康保険特別会計補正予算で、前年度決算に伴い国及び一般会計に返納する財源が繰越金であるのは、昨年度が黒字決算であり、昨年の保険料の税率改定は必要なかったのでは。

答 平成26年度は、前年度からの繰越金が約1億9,900万円あり、約1億5,000万円の黒字決算であった。

問 国民健康保険特別会計補正予算で、前年度決算に伴い国及び一般会計に返納する財源が繰越金であるのは、昨年度が黒字決算であり、昨年の保険料の税率改定は必要なかったのでは。

答 この繰越金がなければ単年度収支は約4,600万円の赤字となる。その原因は、年々増え続ける医療費であり、適正に運営するためには、状況を見ながら適正な時期に保険料の改定は必要である。



積極的に受診を